

令和7年度学校評価 最終アンケート【職員】

回答数 77 (12月25日 現在)

項目	番号	質問事項	保護者評価との関連	評価				平均	中間結果
				4そう思う	3ややそう思う	2あまりそう思わない	1そう思わない		
安心・安全 児童生徒の安心・安全を重視し、保健衛生と安全管理、教育環境整備に努める。	1	毎月の安全点検を確実に実施し、ヒヤリハットについては全教職員で確認できたか。	6	27	46	0	0	3.37	3.28
	2	防火防災、通学指導、給食指導、保健指導(感染症対策や医療的ケア)、いじめ問題のマニュアルを確認し、全教職員で共有できたか。	6	17	57	0	0	3.23	3.19
	3	児童生徒と保護者に寄り添った指導及び支援をベースに一人一人への対応を共有できたか。	2.8	20	53	0	0	3.27	3.23
	4	校内・教室内外の整理整頓に努め、見通しがもて安心できる教育環境づくりを行ったか。	6	17	55	1	0	3.22	3.18
連携・協働 教育公務員としての強い自覚をもち、全職員の相互信頼と協力の下に、特別支援教育の推進に努める。	5	定期的な服務研修(7月, 12月)及び全体職員朝会(1回/月)で服務規律の確認ができたか。	7	46	27	0	0	3.63	3.4
	6	学級・学年・学部単位での連携・協働の在り方を探り、よりよい在り方を学部会や主事等会で確認したか。	9	21	51	0	0	3.29	3.29
	7	常に児童生徒を中心に据え、家庭や関係機関との連携を丁寧に行いながら教育活動の充実に向けた取組ができたか。	5.8	22	51	0	0	3.30	3.29
	8	児童生徒及び教職員の取組の様子を積極的に情報発信できたか。	10	10	58	5	0	3.07	3.23
確かな学び 児童生徒一人一人の実態・課題を十分に把握し、分かる授業づくりに努める。	9	教材研究の日を設定し、授業のねらいと方法などの充実を図ったか。	3	11	58	2	0	3.13	3.1
	10	教科の内容を重視した小・中・高一貫性のある教育課程の改編を検討できたか。	1	9	55	7	0	3.03	2.83
	11	効率的・効果的な授業研究の在り方を検討できたか。	3.4	12	55	4	0	3.11	3
	12	授業公開に向けて、各学部・学級での取組を加速化したか。		23	46	1	0	3.31	2.99
業務改善 組織として、働き方改革及び業務改善のさらなる推進に努める。	13	時間的な余白づくりのための計画・検討ができたか。		14	56	4	0	3.14	3.11
	14	毎朝、予定退勤時刻の宣言ができたか。		13	51	9	3	2.97	2.74
	15	会議等についてより効率的な設定や進め方を検討できたか。		12	61	0	0	3.16	3.04
	16	諸様式について情報整理と簡素化の検討ができたか。		9	62	3	0	3.08	2.83
	17	学校行事、学部行事の統合化・簡素化の検討ができたか。	9	12	60	2	0	3.14	2.99

令和7年度学校評価集計 中間 保護者【105人中95人提出(90%)】

番号	質問事項	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1	評価 0	平均	合計
1	学校は、個々の児童生徒の指導計画や、日々の学習に関する計画等を適正に作成し、活用していますか。	55	35	1	0	4	3.59	95
2	学校は、個々の児童生徒の将来を見据えた学習活動に取り組んでいますか。	52	36	2	1	4	3.53	95
3	学校は、学習効果を上げるような教材・教具を開発・活用し、児童生徒の学習意欲を高めていますか。	50	33	5	1	5	3.48	94
4	学校は、障害のある児童生徒の指導に必要な専門性を持っていますか。	57	30	2	1	5	3.59	95
5	学校は、PTA活動の充実のために積極的に協力していますか。	60	25	3	0	7	3.65	95
6	学校は、児童生徒の安全のため、環境整備や安全管理を徹底していますか。	58	31	3	0	3	3.6	95
7	職員は、児童生徒のモデルとなるように行動できていますか。	54	31	3	0	7	3.58	95
8	学校は、必要な場面で家庭教育の適切な支援ができていますか。	53	34	4	1	3	3.51	95
9	学校は、学校行事や他校との交流及び共同学習、校外での教育活動が充実していますか。	52	36	2	1	4	3.53	95
10	学校は、学校の教育活動や地域の特別支援教育の充実のための情報を、保護者や地域に積極的に発信していますか。	48	38	2	1	5	3.49	94

保護者による評価については、項目「2,5」が中間より低くなっているが、中間より10%ほど回収率が下がってしまったため、中間との比較という点では正確性に欠ける。数値自体は全てで「より高い数値」と捉える3.2を上回った。自由記述においても、学校に対する肯定的な意見や感謝の言葉が多く寄せられ、職員にとっても励みとなる結果となった。「校外学習」「施設説明会」については意見・要望が挙げられていたので、保護者への紙面報告にて学校として回答した。

令和7年度 学校関係者評価委員評価票（結果）

- 各項目について、A～Dの段階で評価していただきました。
- 一番下の欄には、取組に対する御意見、御感想等をいただきました。

【4段階評価】

A：十分達成している B：おおむね達成している C：やや不十分である D：不十分である

項目及び主な評価観点	評 価				改善事項等
	A	B	C	D	
学校の経営方針や基本的な考え方などについて <ul style="list-style-type: none"> - 経営方針や基本的な考え方、「めざす児童生徒像・教師像・学校像」、努力点等は、学校の特性に配慮し、妥当であるか。 - 各学部の運営や校務の組織等は、学校の特性に配慮し、妥当であるか。 	5				
教育活動の推進・充実及び職員研修について <ul style="list-style-type: none"> - 学校の教育課程や教育活動等は、児童生徒の障害や特性等に配慮した適切な内容になっているか。 - 教職員の研修体制は適切であるか。また、専門性や指導力、資質等の向上に努めているか。 	5				
教職員の児童生徒への指導や保護者への対応等について <ul style="list-style-type: none"> - 児童生徒への指導や対応は、その障害や実態等に応じ、きめ細かな配慮をしているか。 - 教育相談や「けんこうだより」、連絡帳等による保護者への説明や連絡は適切になされているか。 	5				
保護者の協力態勢及び関係機関の支援について <ul style="list-style-type: none"> - 保護者は学校の教育活動等に対して協力的であると思うか。 - 福祉施設や医療期間等の関係機関・団体との連携や支援は適切であるか。 	4	1			
施設・設備の整備・充実について <ul style="list-style-type: none"> - 児童生徒の障害や特性等に配慮した施設設備の充実に努めているか。 - 学校の環境美化は配慮が行き届いているか。 	5				
総 合 評 価	5				

◆ 御意見、御感想など ◆

全ての項目におきまして、山下校長先生の強いリーダーシップのもと、先生方が同じベクトルであふれんばかりの愛情をもって子どもたちに接し、成長を見守る「チーム南薩特別支援学校」の取組に触れさせていただきました。保護者アンケートにありました「地域の小学校との交流をととても楽しみにしています。」のお声をしっかりと受け止めさせていただきます。

「元気の出る学校評価」の欄、たくさんのたのもし先生方がいらっしゃる事に感激。先生同士で認め合い、ほめられる事は良いですね。たくさんの行事、いつも素晴らしく、先生方に感謝です。今年度は南養祭に行けなかったのが残念でした。

今年、一年ありがとうございました。生徒との向き合い方、保護者対応、教員のスキルアップなど学校としての取組方針を知ることができ、先生方一人一人が意識されているということが伝わってきました。生徒たちを受け入れるにあたり、まずは先生方が心身ともに元気でないといけません。先生方の働き方も今後も意識していただけるとありがたいです。今後ともよろしく願いいたします。

ここの児童生徒の実態を的確に把握した上での教職員の研修、自立活動の指導・支援を図るための研修及び実践に取り組まれていることが良く理解できました。毎年の学校及び保護者評価も以前にも増し、それぞれの項目に対し、業務改善に取り組まれた結果だを思います。今後も地域の中核的就学する学校として、本園対象児童も継続的に入所してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。